

（11）のページは先生が読んでください。テストの時には生徒に配らないうでください。）

鈴木さんが学級の人みんなに総合的な学習の時間で取り組む研究テーマについて話をしています。メモを取りながら聞きました。話が終わったら問題に取り組みます。なお、話は、一回だけです。

私は「パンダはなぜササを食べるのか」という研究テーマを立て、パンダの食生活と体のつくりの関係について調べていこうと思います。

私は、これまで肉食動物と草食動物の体のつくりの違いについて調べてきました。

ライオンやチーターなどの肉食動物は、他の動物を食べます。歯の形に注目してみると、犬歯は大きく発達していて、臼歯きゅうしもとがっています。これは、獲物をしとめ、肉を引きちぎるのに適しているのです。また、目の位置を見ると、前の方についています。両目で見る範囲が広いので、獲物までの距離が分かりやすいのです。このため、獲物を見ながら追いかけることもできます。さらに、あしを見ると、前あしには鋭いつめがあり、これも獲物を捕らえるのに役立ちます。

一方、シマウマやキリンなどの草食動物は、植物を食べます。肉食動物と比べてみると、歯の形も目の位置もあしの形もちがいます。歯の形を見ると、門歯もんしや臼歯が発達していることが分かります。門歯で草をかみきり、臼歯で草をすりつぶすのです。目の位置を見ると、二つの目がそれぞれ顔の横についていることが分かります。これにより、見える範囲が広くなり、肉食動物たちの姿を見つけやすいのです。また、あしにひづめをもつ動物が多いのも草食動物の特徴です。これは、長い距離を走るのに都合がよいのだそうです。

このようにこれまでの調べ学習で、肉食動物と草食動物は、食べるえさの種類によって工夫された体のつくりになっていることが分かりました。

ところが、動物園にいるパンダを見ると、目の位置や歯の形、あしのつめは肉食動物の体のつくりになっているのに、ササを食べている場面をよく見かけます。これはいったいなぜなのでしょうか。

今後は動物園の飼育員さんにインタビューをするなどして、この研究テーマを調べていきたいと考えています。

これで私の発表を終わります。

(1)
《解答》

パンダはなぜササを食べるのか (同趣旨であれば正解)

(2)
《解答例》

これまで調べてきたこと

肉食動物と肉食動物の体のつくりの違い (目の位置、歯の形、あしのつめ)

そこから分かったこと

肉食動物と草食動物は、食べるえさの種類によって工夫されたからだのつくりになっていること

(同趣旨であれば正解)